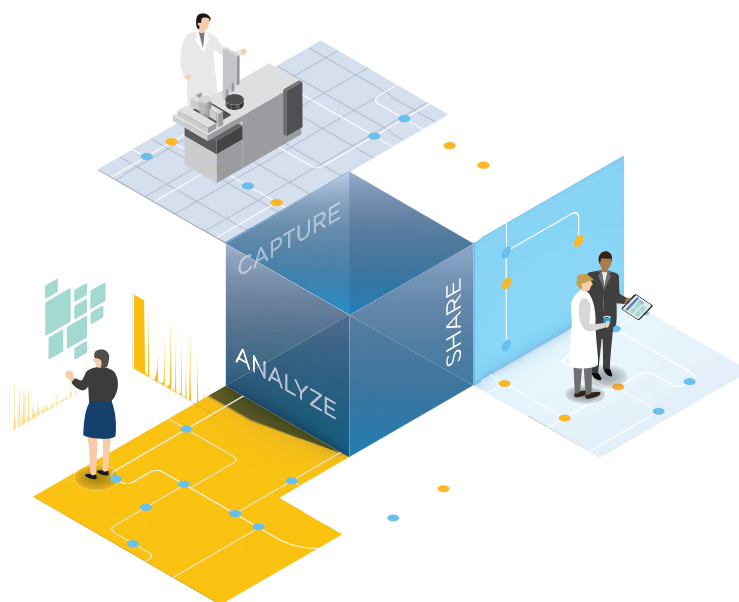




www.agilent.com/chem/openlabcds

エディション 2022 年 4 月
文書番号 : D0002171ja Rev. B

OpenLab CDS – 基本情報

用語	
測定メソッド	機器の測定条件が含まれています。測定ソフトウェアで編集します。
監査証跡	データの変更記録です。変更を行ったユーザー、変更の日時、変更内容、および変更の理由が含まれます。監査証跡の設定は、OpenLab コントロールパネルで行います。
レイアウト	表示方法と表示する内容を定義します。既定のレイアウトを利用できます。また、個人用にレイアウトをカスタマイズできます。レイアウトの変更はユーザーごとに保存されます。デフォルトのレイアウトに戻すには リセット ボタンを使用します。
関連付けられたメソッド	データに割り当てられた解析メソッドです。
解析メソッド	データ解析と結果の作成に必要な情報やパラメータが含まれています。データ解析で編集します。
プロジェクト	機器ごと、実験室ごと、研究ごとなど、目的に応じてデータを整理できます。プロジェクトごとに個別のアクセス権を設定することができます。
レポートテンプレート	レポートのレイアウトを定義したファイルです。データ解析で編集します。
結果セット	生データ、メソッド、および注入リストのセットです。シングルサンプルまたはシーケンスデータから結果セットを作成し、それらを1つのセットとして再解析することができます。
シーケンステンプレート	新しいシーケンスを作成するためのパターンを定義します。周期的なシーケンスを作成する場合に便利です。測定ソフトウェアで編集します。
シーケンステーブル	シーケンス測定の順番を指定します。測定ソフトウェアで編集します。

ヘルプ & ラーニング

入門ガイド - OPENLAB HELP & LEARNING

インタラクティブな **e-Introduction モジュール**では基本的なワークフローを段階的に説明しています。OpenLab CDS の学習にお役立てください。デスクトップから **OpenLab Help & Learning** アイコンをクリックしてモジュールをご覧ください。

F1 キーを押すと状況に応じたヘルプが表示されます。マニュアルおよびモジュールの最新のローカライズ版については、オンラインのヘルプ & ラーニング (<https://openlab.help.agilent.com>) をご確認ください。

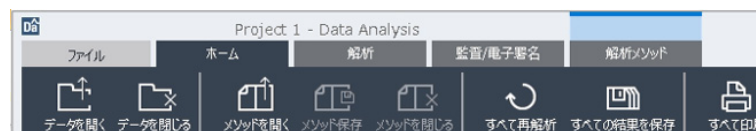


アジレントコミュニティ

<https://community.agilent.com>

他のユーザーとつながってアプリケーションについて連携したり、アジレント製品についての知見を交換したり、アジレントの技術関連の詳細なドキュメントやビデオを検索したりできる便利なサイトです。

メニューコマンド



コマンドはリボンにあります。データ解析では、選択中のウィンドウに対応するコマンドのリボントабは、青色でハイライト表示されます。

準備およびインストールとコンフィグレーション

準備

System Preparation Tool を実行し、要件ガイドでハードウェア、ソフトウェアおよびネットワークの要件を確認します。

インストールとコンフィグレーション

USB スティックの **setup.exe** をクリックして、インストールウィザードを実行します。

OpenLab CDS クイックリファレンスシート

機器およびプロジェクトへのアクセス		データ測定		データ解析およびレポート		
 コントロールパネル デスクトップアイコンをクリックして OpenLab コントロールパネルを起動します。		 測定メソッドの作成 メソッドには分析の測定パラメータと機器パラメータを設定します。  新しいパラメータを機器へダウンロードします。		 データのレビュー ■ データを読み込むには、【データ選択】 ビューのノードをダブルクリックします。 ■  データまたは結果セットを比較するために固定 ■ ピークエクスプローラを使用して、シーケンス全体を表示し、サンプルの傾向や疑似ピーク（ノイズ）などを特定します。 ■ 既存の注入データを使用してカスタム結果セットを作成（データツリー内で追加する注入データのノードを右クリックして選択し、リボンの【新規結果セットの作成】をクリック）します。  積分の最適化を使用して、ピークベースラインを素早く調整します。		
	ユーザーの管理 ロール：システム管理者 ■ グループへユーザーを割り当て ■ グループへロールを割り当て ■ デフォルトのロールを使用、またはロールへ権限を割り当て（測定およびデータ解析には、化学者ロールの使用を推奨） ■ セキュリティポリシーの編集 ■ ライセンスの管理		 シングルサンプルの分析 ■ サンプル情報の入力 ■ 測定メソッドおよび解析メソッド（オプション）の指定 ■ 分析の開始		 シーケンスの実行  ■ 新しいシーケンスを作成します。  ■ 保存されているシーケンスを開いて編集します。  ■ 結果セットまたは CSV ファイルからシーケンスをインポート（ドラッグアンドドロップも可能）します。 ■ または 【テンプレートの適用】 から、シーケンステンプレートを適用します。 シーケンス シーケンステーブルの編集 列を編集するには右クリックして 【下へコピー】、行全体を編集するには右クリックして 【行のコピー / 追加】 を選択します。  左端に列を固定します。 注入データおよびシーケンスパラメータの編集 ■ 自動で解析し、レポートを作成するには：既存の解析メソッドを入力 ■ 結果セットの名前を指定 シーケンステンプレート シーケンステンプレートウィンドウで新しいテンプレートを作成 シーケンステンプレート サンプル数が変わる周期的なシーケンスの場合に使用します。	 データおよび解析メソッド 解析メソッドはすでにデータに関連付けられて（割り当てられて）いる場合があります。 関連付けられていない場合は、新しいマスターメソッドを作成します。  注入データをマスター解析メソッドに関連付け  マスターメソッドがデータに関連付けられると、結果セットメソッド（結果セットのフォルダーに保存）が作成されます。  再解析（関連付けした後に自動または手動で実行）
	プロジェクト ロール：プロジェクト管理者 データを管理するためのプロジェクトを作成 ■ メソッドの監査証跡を有効にする ■ プロジェクトのオプションを設定 ■ サンプルおよび化合物のカスタムパラメータを追加 ☆ プロジェクトのショートカット（データ解析）を作成します。  プロジェクトのデータ解析を起動します。		 ステータス ランキュー、機器ステータス、オンラインシグナルを表示します。		 解析メソッドの編集 解析メソッドはセクションに分かれています。 ■ 積分イベント：すべてのシグナル、または特定のシグナルに対する積分条件 ■ 化合物： 化合物の追加：ピークを右クリックするか、化合物テーブルを右クリックして追加します。 ■ キャリブレーション： 全般 タブでキャリブレーションレベル数を設定 ■ スペクトル： 比較と純度チェック用の MS リファレンススペクトルと UV リファレンススペクトルを設定 ■ 抽出 > スペクトル： バックグラウンド補正モードの設定 ■ ツール > カスタム計算： デフォルト計算にない計算を設定	
機器 ロール：機器管理者 機器の作成とコンフィグレーション 機器のモニター ☆ 機器のショートカット（測定用）を作成します。  機器の測定ソフトウェアを起動します。	 データ解析の起動 【ランキュー】 の 【履歴】 タブにあるアイコンをクリックして、完了したシングル注入データまたはシーケンスをデータ解析でレビューします。	レポートおよび印刷  デフォルトテンプレートをプロジェクトへインポート （デフォルトテンプレートを基にしてカスタマイズを開始）： 【データ選択】 > 【デフォルトテンプレートのインポート】  結果をマニュアルで印刷 データ解析で、解析メソッドの 【レポート】 セクションを編集し、メソッドを関連付け、リボンの 【すべて印刷】 をクリックします。 解析メソッドの印刷 データ解析の 【ファイル】 リボントabに移動し、【印刷】 > 【メソッド印刷】 を選択します。  レポートを PDF 形式で保存： 【レポート】 に移動し、【プレビュー】 > 【PDF に保存】 をクリックします。 シーケンスサマリーレポートの場合は、サブメニュー 【結果セットサマリーレポートの保存】 をクリックします。				